

第2次おおい町未来創生戦略

事業評価シート

第2次おおい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	1-①	課名	すこやか健康課
------	-----	----	---------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	みんなで子育てを支え合い・応援する環境づくり		
戦略事業名	①妊産婦支援事業		
予算事業名	母子保健事業(助産師配置・産後ケア)		

令和2年度実績額	337,000円	令和3年度予算額(6月補正後)	664,000円
----------	----------	-----------------	----------

	令和2年度	令和3年度(予定)	令和4年度
事業の概要(実績)	<p>【助産師配置】 すすく広場や離乳食教室に助産師を配置し、妊娠・出産・育児に関する相談に応じている。また、第1子の赤ちゃん訪問を助産師が実施している。 ・助産師訪問数 17組</p> <p>【産後ケア】 概ね産後4か月頃までの産婦を対象に、助産師による母の心身のケアや授乳・育児相談などを実施している。(会場は中山クリニック2階を使用) ・実利用者数 8人(延利用者数 9人)</p>	<p>【助産師配置】 すすく広場や離乳食教室に助産師を配置し、妊娠・出産・育児に関する相談に応じている。また、第1子の赤ちゃん訪問を助産師が実施している。</p> <p>【産後ケア】 産後1年以内の産婦を対象を拡充し、助産師による母の心身のケアや授乳・育児相談などを実施している。(会場は中山クリニック2階を使用)</p>	/



産後ケアのご案内

★産後ケアとは?★
 出産は、女性にとって一生の中で一番といわれているほどの大事事。新しい命を授かることでの心からの状態が大きく変化します。
 産後ケアでは、不安定になりがちな産後のお母さんの心からのケアや赤ちゃんの世話をし、子育てで悩んでいるお母さんがゆったりとした気持ちで過ごせるよう、助産師がご希望をうかがいながらお手伝いします。

利用
 できる方
 おおい町に住所がある、おおい町産後4か月頃までの赤ちゃんとお母さんで、次の項目に該当する方
 (1) お母さんの体調や育児に不安がある方
 (2) お母さん、赤ちゃんともに健康行為が必要のない方

チェック項目に1つでも当てはまる方は、利用してみませんか?
 産後の疲れがとれない、寝れない
 母乳、ミルクが足りているのか心配
 赤ちゃんとの関わり方がわからない
 悩みを相談できる人がいない
 産後、家事や育児に協力してくれる人がいない

※詳しい内容や利用方法については、チラシの裏面をごらんください

●お問い合わせ●
 おおい町すこやか健康課(子育て世代包括支援センター)
 ☎0770-77-1155



産後ケア利用の流れ

1. 申し込み
 「産後ケア事業利用申請書」に必要事項を記入し、下記窓口へ提出。
 窓口で産後ケア利用申請書が受理されます。

2. 受付
 受付(すこやか健康課)においでいただき、15分程度お話を伺います。
 受付時間: 月～金 9:00～17:00(土曜・日・祭日を除く)

3. 実施
 中山クリニック2階
 受付時間: 産後4か月頃～産後1年以内(必要に応じて延長)
 おしり拭き・ミルク・授乳指導、その他育児に関するお悩み

4. 退席
 当日の流れ(利用時間: 午後10時～午後3時)
 ◎利用されるお母さんの心電図や血圧を測定し、健康状態を確認して、個別に対応させていただきます。
 ●産後ケア・母乳指導
 ●授乳指導・抱擁
 ●沐浴指導(生後1か月まで) お母さんのシャワーもOK
 ●育児相談
 ●産後のお母さん向け、産後・育児に関するお悩みをいただきます
 ●休憩 休むことがお休みの、からだの疲れを癒すお時間(お母さんご自身のペースで)

5. 退席
 中山クリニック(お母さん専用2-2-1)

<<サービス利用の注意事項>>
 産後ケア利用申請書により、ご希望の日にご利用できない場合がございます(お母さんの都合による場合はご容赦ください)
 ◎中山クリニックまでの送迎はありません。
 ◎産後ケア利用にあたり、赤ちゃんの生・育などのお情報はご提供できません。
 ◎産後ケア利用は、産後ケア事業の範囲内でのみ実施させていただきます。
 ◎産後ケア利用の申し込みは、産後ケア事業の開始日より前にお申し込みください。

評価(Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	妊娠出産に満足している者の割合		⇒	現 状		KPI達成率(%)
	基準値(平成30年度)	71.7%		令和2年度末	65.9%	
	目標値(令和6年度末)	83.7%				

① 数値目標達成状況 おおむね達成

達成状況の要因分析、今後の方針

令和2年度から、助産師の配置と産後ケア事業を実施し、産後不安定になりがちなお母さんの心身のサポートを実施している。

助産師による訪問指導や相談事業については、特に授乳に関して不安を抱きやすい初産婦に対して、具体的な指導を実施できており、産婦の満足度につながっていると考えられる。

また、産後ケア事業についても、十分な休息をとれずに育児をしている母に対し休息の機会を提供したり、育児不安を抱える母の相談に対応したりしており、産婦の疲労回復や不安解消等につながっていると考えられる。

今後も事業を継続し、産婦の心身のサポートを実施していく。

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)

<p>ノウハウの内容</p>	<p>特に授乳方法などにおいて、助産師は具体的な指導が実施できるため、授乳に関する不安を抱きやすい初産婦に対して、助産師の訪問・相談は有意義である。 育児に対する不安を抱えている母や、十分な休息をとれずに育児をしている母に対し、産後ケア事業を実施し、助産師による育児相談や休息の機会を提供することは、産後うつ予防や育児ストレス軽減のために必要である。</p>
<p>ノウハウの活用状況・活用方針</p>	<p>今後も、助産師を積極的に活用し、助産師相談や助産師訪問を実施していく。 また、産後ケア事業を継続し、育児不安や育児疲れがある産婦に対し、心身のケアや休息の機会を提供していく。</p>

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

<p>（この欄は空欄です）</p>

④ 事業成果

<p>数値目標は基準値を下回っているが、令和2年度から新たに、助産師の配置と産後ケア事業を実施し、母子のサポートを実施している。 助産師による相談・訪問については、特に初産婦で授乳に不安がある産婦に対し、具体的な授乳指導が実施でき、効果的であった。また、育児に対する不安を抱えている母や、十分な休息をとれずに育児をしている母に対し、産後ケア事業を実施することで、助産師による育児相談や休息の機会を提供し、産後うつ予防や育児ストレス軽減につながった。</p>
--

内部評価結果

<p>・助産師による訪問活動、相談事業を通じた育児指導、産後ケア事業での育児相談や休息機会の提供が、妊産婦の満足度につながっていると考えられ、KPIの達成に向けて順調。今後も継続して心身のサポートを実施していくことが重要</p>
--

外部評価の結果

【戦略分類1 共通事項】

- ・子育て応援に関しては県内でもトップを走っている部分だと思う。生活している方からは、子育て支援は凄く充実しているとの声を聴いている
- ・フォローされている部分も多いと思うが、一方で、子育てがしにくいとの声もある。支援制度だけでなく、ものを買うにも町外に出ないといけないなど不便さが理由なのかもしれないが、こういった声の把握にも努めてもらいたい

第2次おい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	1-①	課名	すこやか健康課
------	-----	----	---------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	みんなで子育てを支え合い・応援する環境づくり		
戦略事業名	①妊産婦支援事業		
予算事業名	母子保健事業(マザーズカフェ)		
令和2年度実績額	41,375円	令和3年度予算額(6月補正後)	74,000円

	令和2年度	令和3年度(予定)	令和4年度
事業の概要(実績)	<p>妊産婦を対象に、同じ地域で子育てをしていくための仲間作りを第一の目的に開催している。気軽に参加できてリラックスしてもらえる場として利用できるように、飲み物やおやつを提供も行っている。</p> <p>また、専門職(助産師や歯科衛生士等)によるミニ講座があり、必要な知識を持ち帰ってもらうことや、妊娠生活や育児についての悩みを相談できることを目的に講座を企画している。</p> <p>実績 回数: 年6回(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2回中止) ミニ講座: 産後ヨガ3回 ベビーマッサージ1回 歯みがき講座2回 参加者: 延べ77人(うち妊婦1人)</p>	<p>回数: 年8回 ミニ講座: 産後ヨガ4回 ベビーマッサージ2回 歯みがき講座2回</p>	/



R2.11 保健福祉センターなごみ



R2.9 あつとほ〜むいきいき館

評価(Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	マザーズカフェの開催		⇒	現 状		KPI達成率(%)
	基準値 (平成30年度)	年間延べ72人		令和2年度末	年間延べ77人	85.6
	目標値 (令和6年度末)	年間延べ90人				

① 数値目標達成状況 おおむね達成

達成状況の要因分析、今後の方針

○要因分析

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、4・5月の回を中止としていたため、年間の延べ人数は基準値とあまり変わりはないが、1回ごとの参加人数は増加している。令和2年度から助産師や保育士がスタッフとして毎回参加するようになったことや、母子手帳アプリ・助産師訪問等で周知できる機会が増えたこと等が要因と考えられる。

○今後の方針

現在の参加者のほとんどが産婦で、妊婦の数が少ないため、妊婦向けのミニ講座の回を増やす。

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)

<p>ノウハウの内容</p>	<p>①気軽に参加できる教室を求めている産婦さんが多く、色々なところから教室の情報をキャッチしている。 ②これまでは病院で開催している両親学級に参加している妊婦さんが多かったが、「新型コロナウイルス感染症の影響で病院が両親学級を中止している。町での教室はないか」との声があった。マザーズカフェにご案内するも、講座内容が産婦さん向けだと参加しにくいいため、妊婦さんでも参加しやすい講座が必要。</p>
<p>ノウハウの活用状況・活用方針</p>	<p>・マザーズカフェ開催の情報を得やすいように、妊娠届出時や訪問時のチラシ配布・ホームページ・メール配信・母子手帳アプリ・有線放送等、様々なツールを用いての周知。 ・ミニ講座の内容としてどのような需要があるのか、マザーズカフェ参加者にアンケートを取ったり妊娠届出時に妊婦さんから聞き取ったりして次年度に反映させる。</p>

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

<p>前年度の内部評価・外部評価の事業への反映</p>

④ 事業成果

<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2回中止であったが、参加延べ人数は平成30年度を上回っており、専門職スタッフの増員や周知方法の多様化の成果が出ている。 しかしミニ講座内容が産婦向けであり、参加者のほとんどが産婦で妊婦の参加がごくわずかだった。</p>
--

内部評価結果

<p>・令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、4・5月に講座を開催できなかったが、1回ごとの参加人数が増加した結果、延べ人数で見るとKPIの達成に向けて順調であり、利用者から見て注目度の高い事業と言える ・一方で、妊婦の参加者が少ないため、妊婦向け講座の回数を増やなどの検討が必要</p>
--

外部評価の結果

<p>【戦略分類1 共通事項】 ・子育て応援に関しては県内でもトップを走っている部分だと思う。生活している方からは、子育て支援は凄く充実しているとの声を聴いている ・フォローされている部分も多いと思うが、一方で、子育てがしにくいとの声もある。支援制度だけでなく、ものを買うにも町外に出ないといけないなど不便さが理由なのかもしれないが、こういった声の把握にも努めてもらいたい</p>
--

第2次おい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	1-②	課名	住民窓口課
------	-----	----	-------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	みんなで子育てを支え合い・応援する環境づくり		
戦略事業名	②子育て世代に優しい町PR事業		
予算事業名	(経常)こども家族館管理運営事業		
令和2年度実績額	180,000円	令和2年度予算額	240,000円

	令和2年度	令和3年度(予定)	令和4年度
事業の概要(実績)	<p>こども家族館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度から引き続き6月1日まで閉館となった。その後、順次子育て支援のための事業を再開したが、参加定員を設けたり、広い会場に変更するなど、3つの密にならないよう運用を行った。そのため、利用者は例年より減っているが、参加を楽しみにしている人は多く、毎回一定数の利用者があった。</p> <p>また、情報発信については、館内において町の子育て支援施策PRパネルや観光ポスターの掲示などでPRを行った。</p> <p>なお、例年は春と秋に企画展を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</p> <p>【令和2年度各事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援プログラム 453名 ・子育てマイスターさんとあそぼう 235名 ・なかよししましょ 227名 ・春秋期企画展(中止) 	<p>今年度も、コロナ禍の状況は変わらないため、昨年同様、参加定員を設けたり、広い会場を使用するなど、3つの密にならないよう運用を行っている。そのため、今年度も、利用者は例年より減少傾向にあるが、参加を楽しみにしている人は多く、毎回一定数の利用者がいる。</p> <p>また、情報発信については、館内において町の子育て支援施策PRパネルや観光ポスターの掲示などでPRを行っており、更に今年は、SNSを使っている情報発信も再開した。</p> <p>なお、今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春の企画展は無く、秋の企画展においても実施は未定である。</p> <p>【令和3年度各事業予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援プログラム 年24回開催 ・子育てマイスターさんとあそぼう 年11回開催 ・なかよししましょ 年11回開催 ・春秋期企画展(実施未定) 	/



子育てマイスターさんとあそぼう

評価(Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	イベント入込数		現 状	KPI達成率(%)				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">基準値 (平成30年度)</td> <td style="text-align: center;">年間延べ 22,717人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">目標値 (令和6年度末)</td> <td style="text-align: center;">年間延べ 23,500人</td> </tr> </table>	基準値 (平成30年度)	年間延べ 22,717人	目標値 (令和6年度末)	年間延べ 23,500人	⇒	令和2年度末 915人	3.9
基準値 (平成30年度)	年間延べ 22,717人							
目標値 (令和6年度末)	年間延べ 23,500人							

① 数値目標達成状況 達成できなかった

達成状況の要因分析、今後の方針

令和2年度は、コロナ禍のため、例年実施していた春と秋の企画展が中止になった。他の事業も制限をかけた中での運用であるため、参加者数は減少傾向にあるが、この企画展の参加者は、成果を測る指標に用いる人数の大部分を占めているため、中止によりKPI達成率が大変低くなってしまった。現状を反映したKPIの見直し検討が必要と思われる。

* 参考に、企画展を除いた目標値は1,500人であり、KPI達成率は61.0%になる。

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)

<p>ノウハウの内容</p>	<p>コロナ禍においても、子育て中の家族の利用は一定数あり、子育てや育児に関する悩みについて、身近な施設で気軽に相談できる環境を整えることは有意義であると思われる。また、イベント時だけでなく、平日においても専門的に相談できる機会を更に増やしていくことが必要であると思われる。</p>
<p>ノウハウの活用状況・活用方針</p>	<p>平成29年度以降、新たな子育て応援プログラムとして「子育てマイスターさんとあそぼう」を年11回(8月除く月1回)開催することとし、保育、医療、看護、保健など子育てに関する国家資格を持つ「子育てマイスター」から、子育てに関する助言を受けたり、悩みや不安に関する相談ができる機会を創出している。</p>

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

<p>前年度の内部評価・外部評価の事業への反映</p>

④ 事業成果

<p>町子育て支援施策等を啓発するためのパネルなどは常時掲示しており、来館者に対して一定のPR効果はあるものと思われる。 しかし、その効果を直接的に移住・定住の促進につなげていくためには、興味を持たれたと思われる方に対して、町子育て包括支援センター等の関係機関とも綿密に連携しながら、取り組んでいく必要があると思われる。</p>
--

内部評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、例年実施していた企画展が中止になったほか、他のイベントなどでも参加人数などに制限をかけていたため、実績が目標値を下回っている ・現状を踏まえ、KPIの見直しを検討していく必要がある。また、イベントでのPRを移住・定住につなげていくため取組が重要

外部評価の結果

<p>【戦略分類1 共通事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援に関しては県内でもトップを走っている部分だと思う。生活している方からは、子育て支援は凄く充実しているとの声を聴いている ・フォローされている部分も多いと思うが、一方で、子育てがしにくいとの声もある。支援制度だけでなく、ものを買うにも町外に出ないといけないなど不便さが理由なのかもしれないが、こういった声の把握にも努めてもらいたい

第2次おい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	1-③	課 名	住民窓口課
------	-----	-----	-------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	③保育料負担軽減事業		
予算事業名	大飯地区認定こども園運営委託等事業		

令和2年度実績額	327,148,954円	令和2年度予算額	310,123,000円
----------	--------------	----------	--------------

	令和2年度	令和3年度(予定)	令和4年度
事業の概要（実績）	<ul style="list-style-type: none"> ・第1子 0歳～2歳児の保育料軽減 ・第2子以降、保育料無償化 ・3歳～5歳児の副食費を無償化 	同左	/



評 価 (Check)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	入園率		⇒	現 状		KPI達成率 (%)
		基準値 (平成30年度)		88.7%	令和2年度末	92.7%
	目標値 (令和6年度末)	90.0%				

① 数値目標達成状況	達成
達成状況の要因分析、今後の方針	
<p>ここ数年未満児からの入園が増加しており、特に1歳児からの入園が増加傾向にあり、園児数は安定している。しかし、出生数は徐々に減少しており、今後は園児数の減少も考えられる。今後も保育内容の充実に努め、保護者や地域から信頼される園作りを目指し、就園率アップに心掛ける。 ※なお、入園希望者については100%就園している(待機児童なし)</p>	

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)	
ノウハウの内容	保育料の負担を軽減することにより、子どもを園に預けやすくなるとともに、保護者の働きやすい環境が整えられる。
ノウハウの活用状況・活用方針	地域の中の園としての役割を改めて認識し、更なる保育内容の充実を目指していく。
③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映	
④ 事業成果	
<p>国の幼児教育、保育無償化に併せて、第1子0歳から2歳児の保育料軽減、第2子以降保育料無償化、3歳から5歳児の副食費の無償化を行うことにより、保護者の経済的負担が軽減された。</p>	
内部評価結果	
<p>保育料を軽減することで保護者の経済的負担が減少し、子どもを預けやすい環境が整った結果、園児数は安定しており、KPIの達成に向けて順調。今後も、継続して保育内容の充実に努めていくことが重要</p>	

外部評価の結果

【戦略分類1 共通事項】

- ・子育て応援に関しては県内でもトップを走っている部分だと思う。生活している方からは、子育て支援は凄く充実しているとの声を聴いている
- ・フォローされている部分も多いと思うが、一方で、子育てがしにくいとの声もある。支援制度だけでなく、ものを買うにも町外に出ないといけないなど不便さが理由なのかもしれないが、こういった声の把握にも努めてもらいたい

第2次おい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	1-③	課名	住民窓口課
------	-----	----	-------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	③保育料負担軽減事業		
予算事業名	名田庄こども園運営事業		

令和2年度実績額	49,969,290円	令和2年度予算額	48,138,000円
----------	-------------	----------	-------------

	令和2年度	令和3年度(予定)	令和4年度
事業の概要 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1子 0歳～2歳児の保育料軽減 ・第2子以降、保育料無償化 ・3歳～5歳児の副食費を無償化 	同左	/



評価(Check)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	入園率			現 状		KPI達成率 (%)
		基準値 (平成30年度)		88.7%	⇒	令和2年度末
	目標値 (令和6年度末)	90.0%				

① 数値目標達成状況	達成
達成状況の要因分析、今後の方針	
<p>ここ数年未満児からの入園が増加しており、特に1歳児からの入園が増加傾向にあり、園児数は安定している。しかし、出生数は徐々に減少しており、今後は園児数の減少も考えられる。今後も保育内容の充実に努め、保護者や地域から信頼される園作りを目指し、就園率アップに心掛ける。 ※なお、入園希望者については100%就園している(待機児童なし)</p>	

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)

<p>ノウハウの内容</p>	<p>保育料の負担を軽減することにより、子どもを園に預けやすくなるとともに、保護者の働きやすい環境が整えられる。</p>
<p>ノウハウの活用状況・活用方針</p>	<p>地域の中の園としての役割を改めて認識し、更なる保育内容の充実を目指していく。</p>

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

<p> </p>

④ 事業成果

公開保育の実施により職員の意識向上が見られ、保育内容の充実が図れた。また、保護者対象の保育参加の実施について、アンケートから園の活動への理解の意見が多数寄せられており、地域における園の役割を認識してもらえ取組として、今後も継続して実施していこうと考える。

内部評価結果

保育料を軽減することで保護者の経済的負担が減少し、子どもを預けやすい環境が整った結果、園児数は安定しており、KPIの達成に向けて順調。今後も、引き続き保育内容の充実に努めていくことが重要

外部評価の結果

【戦略分類1 共通事項】

- ・子育て応援に関しては県内でもトップを走っている部分だと思う。生活している方からは、子育て支援は凄く充実しているとの声を聴いている
- ・フォローされている部分も多いと思うが、一方で、子育てがしにくいとの声もある。支援制度だけでなく、ものを買うにも町外に出ないといけないなど不便さが理由なのかもしれないが、こういった声の把握にも努めてもらいたい

第2次おい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	1-④	課 名	すこやか健康課
------	-----	-----	---------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	④にこにこ赤ちゃん応援事業		
予算事業名	にこにこ赤ちゃん応援事業		
令和2年度実績額	2,726,867円	令和3年度予算額(6月補正後)	3,164,000円

	令和2年度	令和3年度(予定)	令和4年度
事業の概要 (実績)	<p>【概要】 乳幼児の子育てに係る経済的負担を軽減することを目的として、満2歳誕生日までの乳幼児を養育する保護者に対して、おむつ購入費年間最大24,000円の助成を行う。</p> <p>【実績】 対象乳幼児 : 184人 支給人数(親) : 158人(子の数: 168人) 申請率 : 91.3%</p> <p>※限度額合計3,246,000円 支給額合計 2,692,958円</p>	<p>【概要】 乳幼児の子育てに係る経済的負担を軽減することを目的として、満2歳誕生日までの乳幼児を養育する保護者に対して、おむつ購入費年間最大24,000円の助成を行う。</p> <p>【対象】 令和元年4月～令和4年2月生まれの乳幼児の保護者</p>	/



赤ちゃんと
のお手伝い
の健やかな成長

乳幼児を養育する保護者等に対し、おむつの購入費を助成します。

1人あたりの年間助成上限 24,000円!

※ 月途中の出生や転入については、翌月から助成対象となり、年度途中で2歳になる乳幼児については、2歳誕生日までの助成対象となります。
乳幼児1人あたりにつき年間2,400円を限度とし、4月から3月までが対象となります。

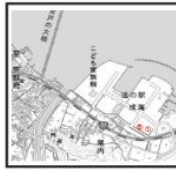
申請に必要なものは、申請書請求書・領収書など・通帳・印鑑



お問い合わせ先 すこやか健康課 ☎77-1155

(おい町乳幼児おむつ購入費助成金)

- 対象者
市の住民基本台帳に記載されている満2歳誕生日までの乳幼児の保護者(未成年者見込またはその他のもので、乳幼児を養育するものを含む)
- 対象地域
乳幼児、申請者が市の住民基本台帳に記載された翌月から、乳幼児が満2歳となる月までの間に、対象地域で購入したおむつの費用。
- 申請方法
「おい町乳幼児おむつ購入費助成金申請書請求書」に補填記入を添えて、『すこやか健康課』、『住民センター』、『保健センター』の窓口で申請、請求してください。
申請、請求の時期は、4月から9月購入分については10月中旬、10月から3月購入分については3月中旬に申請、請求してください。
- 必要なもの
① 申請書請求書(購入したもの、購入年月日、購入店舗、購入金額が確認できる領収書など、通帳(申請書請求のもの)・印鑑)
- 対象店舗(令和2年4月1日現在、今後変更となる場合があります。)
① ダンシャ しみじみ大店 おい町店 0770-69-1251
② マムプザアソコ おおい店 0770-77-3251
③ カネオキ 0770-67-2200
④ 徳島興産 0770-67-2051




※ その他、詳しくは『すこやか健康課』にお問い合わせください。
くわい、おむつ購入費助成金ホームページをご覧ください。

評 価 (Check)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	—			現 状	KPI達成率 (%)
	基準値 (平成30年度)	—	⇒	令和2年度末	
	目標値 (令和6年度末)	—			

① 数値目標達成状況	
	達成状況の要因分析、今後の方針

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)	
ノウハウの内容	①申請率を上げるためには、住民への周知を様々な方向からする必要がある。 ②保護者が記入する申請額の間違が多かった。
ノウハウの活用状況・活用方針	①広報、ホームページ、有線放送、母子保健関連のアプリを使い、事業についての周知をあらゆる方向からしていく。 ②保護者から提出してもらった領収書は、なるべくおむつのみのものでもらう。 ③個々の限度額の計算を分かりやすく例示する。

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

④ 事業成果

満2歳誕生日までの乳幼児を養育する保護者への経済的支援が図れた。
申請されなかった方もいるので、しなかった理由を分析し、周知漏れのないように事業を実施していきたい。

内部評価結果

令和2年度の支給人数158人(子の数:168人)と乳幼児を養育する保護者への経済的支援の観点から重要な事業であり、今後、申請率を更に向上するための要因分析や周知手段の検討などが必要

外部評価の結果

【戦略分類1 共通事項】
・子育て応援に関しては県内でもトップを走っている部分だと思う。生活している方からは、子育て支援は凄く充実しているとの声を聴いている
・フォローされている部分も多いと思うが、一方で、子育てがしにくいとの声もある。支援制度だけでなく、ものを買うにも町外に出ないといけないなど不便さが理由なのかもしれないが、こういった声の把握にも努めてもらいたい

第2次おい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	1-④	課名	すこやか健康課
------	-----	----	---------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	④にこにこ赤ちゃん応援事業		
予算事業名	予防事業(小児インフルエンザ予防接種費助成)		
令和2年度実績額	1,432,425円	令和3年度予算額(6月補正後)	1,600,000円

	令和2年度	令和3年度(予定)	令和4年度	
事業の概要(実績)	<p>【概要】 小児インフルエンザの予防接種費用の一部を助成することにより、小児におけるインフルエンザの発症及び重症化を予防するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。</p> <p>対象者: 年度初日において満1歳～小学校6年生まで 助成額: 接種費用の1/2(1回 1,850円を上限、十円未満切り捨て) 助成回数: 2回まで 助成する接種期間: 10月～翌年1月31日</p> <p>【実績】 対象者数 834人 1回 207人 2回 379人 接種率 70.26%</p>	<p>【概要】 小児インフルエンザの予防接種費用の一部を助成することにより、小児におけるインフルエンザの発症及び重症化を予防するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。</p> <p>対象者: 年度初日において満1歳～小学校6年生まで 助成額: 接種費用の1/2(1回 1,850円を上限、十円未満切り捨て) 助成回数: 2回まで 助成する接種期間: 10月～翌年1月31日</p> <p>【予算】 1,600円×1000人</p>		

令和2年度 小児インフルエンザ予防接種費用助成事業について

概要: インフルエンザの予防接種費用の一部を助成することにより、小児におけるインフルエンザの発症及び重症化を予防するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。

1. 助成対象者
年度初日において満1歳～小学校6年生まで
(平成29年4月2日～平成31年4月1日現在)
2. 助成金額
接種費用の1/2(1回1,850円以内、10円未満は切り捨て)
3. 助成回数
2回
4. 助成対象となる接種期間
令和2年10月1日(祝) から 令和3年1月31日(祝)
※助成金が使用できる期間は11月1日より開始となります。
5. 接種について
接種日を確保する期間において、接種の妨げとなります。実施にあたっては、実施要領を参照してください。

(1) 10月26日以降に下記医療機関で接種する場合

- ① 下記の医療機関に助成事業受付を提出する
- ② 予防接種を受け
- ③ 医療機関が助成率の1/2を支払う

名称	住所	電話番号	受付時間
あおぞらこどもクリニック	あおぞら町1-1-1	77-2753	9:00-17:00
あおぞらこどもクリニック	あおぞら町1-1-1	77-3355	9:00-17:00
あおぞらこどもクリニック	あおぞら町1-1-1	87-3007	9:00-17:00
あおぞらこどもクリニック	あおぞら町1-1-1	72-6336	9:00-17:00
あおぞらこどもクリニック	あおぞら町1-1-1	72-4191	9:00-17:00
あおぞらこどもクリニック	あおぞら町1-1-1	53-2415	9:00-17:00
あおぞらこどもクリニック	あおぞら町1-1-1	64-5321	9:00-17:00
あおぞらこどもクリニック	あおぞら町1-1-1	56-5548	9:00-17:00
あおぞらこどもクリニック	あおぞら町1-1-1	52-2233	9:00-17:00
あおぞらこどもクリニック	あおぞら町1-1-1	62-2000	9:00-17:00

※ 重要 ※
助成金の申請は、接種日より後に行ってください。
※ 助成金の申請は、接種日より後に行ってください。
※ 助成金の申請は、接種日より後に行ってください。
※ 助成金の申請は、接種日より後に行ってください。

(2) 10月25日までに接種、または上記の医療機関以外で接種する場合

- ① 予防接種を受け、金額を支払う
- ② 下記の申請書に必要書類を持って申請する
- ③ 申請書から助成金が振り込まれる

【申請書への添付書類】
① 接種票
② 接種票に必要書類を添付して申請書
③ 接種票の写し
④ 領収書
⑤ 領収書の写し
⑥ 領収書の写し

【問い合わせ・助成金申請窓口】
保健センター2号館内 すこやか健康課 電話 77-1155
受付時間 平日 9:00-17:00
休日 9:00-17:00

評価(Check)					
成果を測る指標(KPI・数値目標)	基準値(平成30年度)	—	⇒	現 状	KPI達成率(%)
	目標値(令和6年度末)	—		令和2年度末	
① 数値目標達成状況					
達成状況の要因分析、今後の方針					

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)

<p>ノウハウの内容</p>	<p>町内医療機関で接種した場合は、費用の1/2を町が直接医療機関に支払い(代理受領)、町外医療機関で接種した場合は、保護者が一旦全額支払った後、町に申請して1/2の助成を受けていた(償還払い)。 →償還払いの申請件数から、町外で接種をする人が多いことが分かった。</p>
<p>ノウハウの活用状況・活用方針</p>	<p>令和2年度から、代理受領できる医療機関の数を増やし、保護者の申請の手間を減らした。今年度も継続する予定。</p>

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

<p>前年度の内部評価・外部評価の事業への反映</p>

④ 事業成果

<p>代理受領できる医療機関を増やしたことで、償還払いの申請件数を減らすことができた。このことによって、保護者の申請の手間を省き、事務処理件数を削減することができた。今年度も引き続き継続していく。</p>
--

内部評価結果

<p>町外で接種をする人が多いことを分析し、令和2年度より、代理受領できる医療機関を町外にも拡充することで、保護者の申請に係る手間を省く取り組みを実施することができている</p>

外部評価の結果

<p>【戦略分類1 共通事項】 ・子育て応援に関しては県内でもトップを走っている部分だと思う。生活している方からは、子育て支援は凄く充実しているとの声を聴いている ・フォローされている部分も多いと思うが、一方で、子育てがしにくいとの声もある。支援制度だけでなく、ものを買うにも町外に出ないといけないなど不便さが理由なのかもしれないが、こういった声の把握にも努めてもらいたい</p>
--

第2次おい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	1-⑤	課名	住民窓口課
------	-----	----	-------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	⑤子育て支援医療費助成事業		
予算事業名	子育て支援医療費助成事業		

令和2年度実績額	23,039,057円	令和3年度予算額(6月補正後)	30,320,000円
----------	-------------	-----------------	-------------

	令和2年度	令和3年度(予定)	令和4年度
事業の概要(実績)	18歳以下の子供たちに係る医療費の自己負担額を助成することで、子育て世帯に対する経済的な支援を行い、児童福祉の増進を図る。 ※0歳から18歳に達した年の3月31日までの子どもが助成対象		
	同左		

支払月	2020年度												2021年度				2022年度				合計
	現物分						償還分						町単独補助事業費		県補助事業費						
	町費分		県費分		現物計		子育て町費		子育て県費		償還計		件数	金額	件数	金額					
4	336	886,164	582	1,233,971	918	2,120,135	49	107,030	67	226,360	116	333,390	385	993,194	649	1,460,331	1,034	2,453,525			
5	328	926,234	530	1,060,769	858	1,987,003	64	130,898	70	194,487	134	325,385	392	1,057,132	600	1,255,256	992	2,312,388			
6	227	623,905	358	684,008	585	1,307,913	38	75,740	65	98,720	103	174,460	265	699,645	423	782,728	688	1,482,373			
7	240	574,414	317	580,098	557	1,154,512	39	67,660	33	82,960	72	150,620	279	642,074	350	663,058	629	1,305,132			
8	270	650,250	396	753,279	666	1,403,529	43	78,370	51	307,940	94	386,310	313	728,620	447	1,061,219	760	1,789,839			
9	56	325,085	590	1,086,246	646	1,411,331	28	62,480	58	127,620	86	190,100	84	387,565	648	1,213,866	732	1,601,431			
10	90	176,103	725	1,480,073	815	1,656,176	23	55,370	77	190,126	100	245,496	113	231,473	802	1,670,199	915	1,901,672			
11	61	226,352	565	956,798	626	1,183,150	33	64,590	61	431,786	94	496,376	94	290,942	626	1,388,584	720	1,679,526			
12	61	268,091	667	1,185,384	728	1,453,475	24	60,840	60	190,169	84	251,009	85	328,931	727	1,375,553	812	1,704,484			
1	72	302,121	734	1,518,867	806	1,820,988	34	154,705	78	264,362	112	419,067	106	456,826	812	1,783,229	918	2,240,055			
2	81	374,489	765	1,518,233	846	1,892,722	39	116,556	63	121,782	102	238,338	120	491,045	828	1,640,015	948	2,131,060			
3	83	332,032	571	1,125,854	654	1,457,886	42	107,240	105	180,660	147	287,900	125	439,272	676	1,306,514	801	1,745,786			
小計	1,905	5,665,240	6,800	13,183,580	8,705	18,848,820	456	1,081,479	788	2,416,972	1,244	3,498,451	2,361	6,746,719	7,588	15,600,552	9,949	22,347,271			

評価(Check)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	—	⇒	現 状		KPI達成率 (%)
	基準値 (平成30年度)		—	令和2年度末	
	目標値 (令和6年度末)		—		

① 数値目標達成状況	
達成状況の要因分析、今後の方針	

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)

ノウハウの内容	子どもの1人当たりの年間の医療費やデータを収集し、予算確保に努める。
ノウハウの活用状況・活用方針	平成31年度より子育て医療費助成対象者の年齢が、18歳まで拡充した。

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

--	--

④ 事業成果

令和2年度において、延べ9,949件、22,347,271円の医療費助成を行うことができた。
--

内部評価結果

子育て世帯を経済的に支援するための重要な施策であり、今後も継続して取り組んでいく必要がある

外部評価の結果

【戦略分類1 共通事項】 ・子育て応援に関しては県内でもトップを走っている部分だと思う。生活している方からは、子育て支援は凄く充実しているとの声を聴いている ・フォローされている部分も多いと思うが、一方で、子育てがしにくいとの声もある。支援制度だけでなく、ものを買うにも町外に出ないといけないなど不便さが理由なのかもしれないが、こういった声の把握にも努めてもらいたい

第2次おい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	1-⑥	課 名	住民窓口課
------	-----	-----	-------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	⑥妊婦等医療費助成事業		
予算事業名	妊婦等助成費医療事業		

令和2年度実績額	2,234,526円	令和3年度予算額(6月補正後)	2,763,000円
----------	------------	-----------------	------------

	令和2年度	令和3年度(予定)	令和4年度
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-weight: bold; margin-right: 5px;">事業の概要(実績)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>母子手帳の交付から出産の約2か月後までの妊婦及び産婦への医療費助成を行うことで、妊婦、産婦がいる世帯に対して経済的な支援を行う。</p> </div> </div>	同左		/

妊婦等医療費助成支給実績

令和2年度支給状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均	単位
人数	9	4	7	13	11	8	10	11	10	11	14	13	121	10.08	人
件数	45	12	32	48	58	37	51	51	42	57	46	65	544	45.33	件
支給額	38,700	15,390	56,020	75,620	233,048	57,760	209,300	152,500	190,870	296,870	298,450	585,002	2,209,530	184,128	円

※一人当たり 18,261 円

内訳(入院分)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均	単位
件数	2	0	0	3	5	0	3	2	3	6	3	12	39	3.25	件
支給額	1,440	0	0	7,240	131,428	0	109,760	71,060	93,600	205,820	238,580	499,192	1,358,120	113,177	円

※1件当たり 34,824 円

内訳(外来その他分)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均	単位
件数	43	12	32	45	53	37	48	49	39	51	43	53	505	42.08	件
支給額	37,260	15,390	56,020	68,380	101,620	57,760	99,540	81,440	97,270	91,050	59,870	85,810	765,600	70,951	円

※一人当たり 6,327 円

評 価 (Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	—	⇒	現 状		KPI達成率(%)
	基準値 (平成30年度)		—	令和2年度末	
	目標値 (令和6年度末)		—		

① 数値目標達成状況	
達成状況の要因分析、今後の方針	

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)	
ノウハウの内容	妊娠期間中の妊婦及び産婦が負担する医療費データを収集し、予算確保に努める。
ノウハウの活用状況・活用方針	母子手帳を配布により、今後の新生児の数の把握に努めることができた。
③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映	
④ 事業成果	
令和2年度において、延べ544件、2,209,530円の妊婦等への医療費助成を行うことができた。	
内部評価結果	
妊婦及び産婦にかかる医療費の助成を通じて、子育て世帯を支援していくために町が独自に実施している施策であり、今後も継続して取り組んでいく必要がある。	
外部評価の結果	
<p>【戦略分類1 共通事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援に関しては県内でもトップを走っている部分だと思う。生活している方からは、子育て支援は凄く充実しているとの声を聴いている ・フォローされている部分も多いと思うが、一方で、子育てがしにくいとの声もある。支援制度だけでなく、ものを買うにも町外に出ないといけないなど不便さが理由なのかもしれないが、こういった声の把握にも努めてもらいたい 	

第2次おい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	1-⑦	課名	学校教育課
------	-----	----	-------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実		
戦略事業名	⑦高等学校等通学費支援事業		
予算事業名	高等学校等通学費支援事業		

令和2年度実績額	6,298,600円	令和3年度予算額(6月補正後)	8,500,000円
----------	------------	-----------------	------------

	令和2年度	令和3年度(予定)	令和4年度
事業の概要(実績)	【概要】 高等学校等に就学する生徒の通学に要する経費補助 高等学校、高等専門学校、特別支援学校 高等部及び専修学校高等課程に修学する生徒の通学に要する経費の一部を助成することにより、その保護者の負担を軽減し、もって本町における子育て環境の整備を図る。 補助額: 通学に要する公共交通機関の定期乗車券購入費の1/2 (助成限度額 1箇月10,000円/人)	【概要】 高等学校等に就学する生徒の通学に要する経費補助 高等学校、高等専門学校、特別支援学校 高等部及び専修学校高等課程に修学する生徒の通学に要する経費の一部を助成することにより、その保護者の負担を軽減し、もって本町における子育て環境の整備を図る。 補助額: 通学に要する公共交通機関の定期乗車券購入費の1/2 (助成限度額 1箇月10,000円/人)	(空欄)
	【実績】 助成実人数 大飯地域 135人 4,571,200円 名田庄地域 32人 1,727,400円 合計 167人 6,298,600円 事業開始年度: 平成22年度	【予定】 助成対象人数 大飯地域 147人 名田庄地域 53人 合計 200人 8,500,000円 事業開始年度: 平成22年度	



評価(Check)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	利用率			現 状		KPI達成率 (%)
	基準値 (平成30年度)	82.1%		令和2年度末	80.3%	
	目標値 (令和6年度末)	84.0%	⇒			95.6

① 数値目標達成状況 おおむね達成

達成状況の要因分析、今後の方針 高等学校等に通学しているすべての生徒が最寄りのバス停から公共交通機関を利用し通学しているのではなく、保護者の通勤に合わせて通学している生徒や、最寄りの駅まで送迎している保護者が毎年一定数いることから、通学費助成の利用については例年横ばいで推移している。 今後も引き続き、町の広報、ホームページや有線放送、また町のメール配信を活用し、高等学校等に通学する保護者に対し、周知を行うとともに負担軽減を図っていきたい。	
---	--

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)

<p>ノウハウの内容</p>	<p>子育て環境における支援の効果検証を行う必要がある。</p>
<p>ノウハウの活用状況・活用方針</p>	<p>引き続き、広く周知を行うとともに、アンケート調査等による効果検証を行う。</p>

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

<p> </p>

④ 事業成果

<p>高等学校等に就学する生徒の保護者に対し、経済的サポートができた。</p>

内部評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の通勤に合わせて通学している生徒等が一定数いるため、利用率は概ね横ばいではあるものの、KPIの達成に向けて順調に推移しており、子育て家庭の経済的なサポートにつながっている ・小浜線の乗客数を増やす観点からも重要な取組なので、引き続き、周知広報活動を実施していく必要がある
--

外部評価の結果

【戦略分類1 共通事項】

- ・子育て応援に関しては県内でもトップを走っている部分だと思う。生活している方からは、子育て支援は凄く充実しているとの声を聴いている
- ・フォローされている部分も多いと思うが、一方で、子育てがしにくいとの声もある。支援制度だけでなく、ものを買うにも町外に出ないといけないなど不便さが理由なのかもしれないが、こういった声の把握にも努めてもらいたい

第2次おい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	1-⑧	課 名	学校教育課
------	-----	-----	-------

戦略分類	1. 子育て支援
取組の方向	経済的な支援のさらなる充実
戦略事業名	⑧進学サポート事業
予算事業名	進学サポート事業

令和2年度実績額	37,090,993円	令和3年度予算額(6月補正後)	38,781,000円
----------	-------------	-----------------	-------------

	令和2年度	令和3年度(予定)	令和4年度
事業の概要(実績)	<p>【概要】 大学や短期大学、専門学校等に進学する学生の保護者に対し、月額20,000円(最高4年分:960,000円(所得要件あり))を給付することにより、修学意欲のある学生の家庭を援助するとともに、該当学生に対し、町の情報発信を行い、ふるさと“おい”を思う気持ちを醸成する。</p> <p>【実績】 上期(給付)152人 18,240,000円 下期(給付)156人 18,720,000円 合計 延べ308人 36,960,000円</p> <p>アンケート調査 対象者:152人 設問:13問+自由意見 回答:95人</p> <p>事業開始年度:令和元年度</p>	<p>【概要】 大学や短期大学、専門学校等に進学する学生の保護者に対し、月額20,000円(最高4年分:960,000円(所得要件あり))を給付することにより、修学意欲のある学生の家庭を援助するとともに、該当学生に対し、町の情報発信を行い、ふるさと“おい”を思う気持ちを醸成する。</p> <p>【予定】 上期(給付)161人 19,320,000円 下期(給付)161人 19,320,000円 合計 延べ322人 38,640,000円</p> <p>アンケート調査</p> <p>事業開始年度:令和元年度</p>	/



進学サポート給付金

評 価 (Check)

成果を測る指標(KPI・数値目標)	—	⇒	現 状	KPI達成率 (%)
	基準値 (平成30年度)		—	令和2年度末
	目標値 (令和6年度末)			

① 数値目標達成状況

達成状況の要因分析、今後の方針

当該事業におけるKPI・数値目標は設定されていないが、保護者等に対する経済的サポートの面において、事業目的を達成することができた。
今後も引き続き、修学意欲のある若者の未来を応援するため、国内の大学等に在学する者を扶養する保護者等への経済的支援を図るとともに学生に町の情報発信に努めたい。

② 事業に取組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)

<p>ノウハウの内容</p>	<p>給付対象学生を対象に 1.町からのイベント情報・広報誌発刊情報・就職情報をメール配信 2.アンケートを実施し、地元就職の意向や求めている情報等を調査し、学生の意識を収集している。</p>
<p>ノウハウの活用状況・活用方針</p>	<p>引き続き、町からメールによる情報発信を積極的に行うとともに、アンケートについては、学生の就職に関する意識調査に重点を置いて調査を実施。その結果を担当各課等と共有し、学生が求める情報の提供に努める。</p>

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

<p> </p>

④ 事業成果

国内の大学等に在学する者の保護者等に対し、経済的サポートができた。
また、学生に対し進学サポート給付金制度におけるアンケート調査を実施し、町からの情報発信の内容や制度の有効性についての検証を行った。
アンケート結果から、約4割の学生が地元就職を希望しているが、学生が求める職種「医療・福祉」「公務」「教育・学習支援」「情報通信業」等の企業が少ないことから、若者の流出が進んでいると推測される。そのため、就職数が限定されるこれらの職種を積極的に誘致することが必要と考える。また、当該制度については、若者の定住に向け、有効な制度であると約8割学生が回答しており、制度の継続が定住促進に繋がることが期待される。

内部評価結果

修学意欲のある学生および保護者を経済的にサポートするおい町独自の制度であり、今後も継続的に学生等への情報提供など繋がりを維持する取組を行い、Uターンなどに繋げていくことが重要

外部評価の結果

【戦略分類1 共通事項】

- ・子育て応援に関しては県内でもトップを走っている部分だと思う。生活している方からは、子育て支援は凄く充実しているとの声を聴いている
- ・フォローされている部分も多いと思うが、一方で、子育てがしにくいとの声もある。支援制度だけでなく、ものを買うにも町外に出ないといけないなど不便さが理由なのかもしれないが、こういった声の把握にも努めてもらいたい

第2次おおい町未来創生戦略 事業内部評価シート

整理番号	1-⑨	課名	すこやか健康課
------	-----	----	---------

戦略分類	1. 子育て支援		
取組の方向	不妊等の支援		
戦略事業名	⑨不妊治療費助成事業		
予算事業名	母子保健事業		
令和2年度実績額	1,138,192円	令和3年度予算額(6月補正後)	2,350,000円

	令和2年度	令和3年度(予定)	令和4年度
事業の概要(実績)	<p>次世代育成支援の一環として、子どもを生みやすい環境づくりを推進するため、不妊治療に要する費用の一部助成を行い、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図り、治療を受ける機会を増やすことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人工授精…1人 体外(顕微)受精…5人(4人が妊娠につながった) (実人数5人) 	<p>次世代育成支援の一環として、子どもを生みやすい環境づくりを推進するため、不妊治療に要する費用の一部助成を行い、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図り、治療を受ける機会を増やすことを目的とする。</p> <p>【予算】 人工授精 50,000円×5人 体外受精 300,000円×7人</p>	/

おおい町不妊治療費助成金の申請について

この事業は、次世代育成支援の一環として、子どもを生みやすい環境づくりを推進するため、不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図り、治療を受ける機会を増やすことを目的としています。

助成の対象となる方(※次の要件にすべて当てはまる方)

- 不妊治療以外の治療によって妊娠の望みがない、または極めて少ない状態に置かれた方
- 助成金の交付対象とした日において治療上の継続していることあり、夫婦がいずれかがおおい町に、おおい町に在住していること
- おおい町に在住していること
- 妊娠を望みしていること

助成対象となる費用は?

市内医療機関での不妊治療にかかる医師診察費用の検査費及び治療費

助成金額はどれくらい?

1) 夫婦2人で1年以内の期間に限り助成します
2) おおい町、おおい町の指定医療機関(おおい町立母子保健センター)以外の指定医療機関(おおい町立母子保健センター)に限り助成します
3) 助成金の上限は1万円です

申請方法は?

おおい町母子保健センターに、下記の窓口へ書類を提出してください。

おおい町母子保健センター(おおい町立母子保健センター)へ提出してください。

おおい町母子保健センター(おおい町立母子保健センター)へ提出してください。

おおい町母子保健センター(おおい町立母子保健センター)へ提出してください。

おおい町母子保健センター(おおい町立母子保健センター)へ提出してください。

<申請の手続きについて>

●申請までの流れ●

●申請から発送までの流れ●

評価(Check)				
成果を測る指標(KPI・数値目標)	—		現 状	KPI達成率(%)
	基準値(平成30年度)	—	⇒ 令和2年度末	
目標値(令和6年度末)	—			
① 数値目標達成状況				
達成状況の要因分析、今後の方針				

② 事業に取り組んだことで得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)

ノウハウの内容

令和2年度の申請では人工授精1人、体外(顕微)受精が5人おり、その内4人が妊娠につながった。

ノウハウの活用状況・活用方針

町民に不妊治療助成事業があることを知ってもらうため、広報やホームページで周知する。

③ 前年度の内部評価・外部評価の事業への反映

④ 事業成果

子どもを生みやすい環境づくりを推進するため、不妊治療に要する費用の一部助成を行い、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図り、治療を受ける機会を増やすことができた。

内部評価結果

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図り、治療機会の増加に資する重要な事業であり、今後も、制度の周知に努めていく必要がある

外部評価の結果

自分の周りにも悩んでいる方がおられるが、保険外の自己負担が結構あると聞いている。妊娠を望む方が何回もチャレンジできるような支援は考えられないか